

サマースクール30年



(上)第17回サマースクール
懐しい顔がいっぱいです
(1997年7月28日~29日)



(左)第30回サマースクール
(2010年8月3日~4日)

よ
う
こ
そ

第20号
浄土真宗本願寺派
円光寺
〒870-0108
大分市三佐3-15-18
TEL097-527-6916
FAX097-527-6949

変わつても、変わらないもの

円光寺では毎年夏休みに、小学生を対象に一泊二日で子ども会サマースクールを行っています。昭和56年に始めて今年で三十回になります。三十年といえば、一世代ということです。第一回参加の六年生は今41歳です。みんなどうしているのかなあ……、結婚して父親、母親になつた人もいるでしょう。その子どもさんが参加されるご縁もありました。親子二代のサマースクールです。記念に毎回集合写真を撮ってきました。古いアルバムを見て、時の移ろいをしみじみと感じます。みんな子どもでした。そして今は大きく成長して、みんな変わりました。

ここまでよく続いてきたものだと思います。いつもワンパトーンのプログラムですが、子どもたちは日常とは異空間のお寺の生活を楽しんでくれます。おいしい食事を作つてくださる婦人会の皆さんはじめ、ご門徒衆のお手伝いがあつたればこそです。子ども会を修了した中学生高校生のサポートは心強く、本当に有難いことです。

日常生活のなかで、より多くの人にお寺をもつともつと身近に感じてほしいと思います。子どもの頃のお寺体験を通して、これから的人生の旅の途中に、またいつかお寺に帰つて来てほしい、仏さまのご縁に遇つてほしいと思います。

お寺の本堂の中心には、三十年前と変わらず、お立ちすがたの阿弥陀如来さまがいらっしゃいます。幾つ年を重ねても、私たちはみんな仮の子どもです。仮さまはいつも変わらず私たちのことを見、必ず救うと南無阿弥陀仏となつてこの私を護り導くおはたらきをしてくださっています。またみんなと会えることを楽しみに続けます。



本山大遠忌法要ポスター

円光寺大遠忌法要

平成23年11月18日(金)
～20日(日)

- 照哲前々住職 50回忌
 - ツネ前々坊守 50回忌
 - 昭然前住職 13回忌
- 併せてお勤めいたします

八百回大遠忌に向けて

これを機縁に、いよいよ次の世代に、子や孫にお念仏のみ教えを伝えていきましょう。聞法の道場・念佛興隆の拠点として、私たちのお寺・開かれたお寺になつていくように、浄土真宗門徒として私にできるお手伝いをさせていただきましょう。

南米チリでおきた鉱山落盤事故は地下七百メトルに閉じ込められた33名全員が69日ぶりに救出され、その模様が全世界にテレビ中継されて、多くの人々が感動した◆救出カプセルから出てきた作業員は真っ先に家族としつかり抱き合った。これまで耐えてこられたのは、仲間同士の支え合いと家族縁者の励ましがあったからこそといわれる◆話題の映画『悪人』を観た。最愛の娘を殺された父親が、娘を山中に捨て去った若者に「あんた、大切な人はおるね?」と聞き「その人の幸せな様子を思うだけで、自分までうれしくなつてくるような人たい」と言うシンが印象に残った◆私にとつて大好きな人とは誰だろう。両親、連れ合い、子ども、恩師、友だち、親せき・・・。そして本当に大切にしているのだろうかと思う。自分の都合に合わせて、愛したり怒ったり憎んだりする私がいる◆私がどんな生き方をし、背を向けることがあっても、いつも私のことを思い続けてくれる人がいる。大切な人、あなたがいるから、どんなことがあっても、希望をもつて生きていける。ありがとう。

親鸞聖人750回大遠忌法要 大海組・円光寺参拝日程 (平成23年)

- ①京都ご旧跡コース
4月12日(火)～14日(木)
- ②越後ご旧跡コース
9月11日(日)～15日(木)
- ③関東ご旧跡コース
10月9日(日)～12日(水)

しんらんさま念佛キャンペーン

親鸞聖人750回大遠忌
(大遠忌2012年1月16日、本廟寺でのご法要2011年4月～2012年1月)

円光寺しんらんさま750ポスター

大海組お待ち受け法要 (平成23年)

- ①3月2日(水)～6日(日)
ようこそ「あんのん広場」へ
- ②3月5日(土)
稚児行列(ガレリア竹町)と法要
- ③3月6日(日)
吉本新喜劇とアジャセの物語
(会場) iichikoグランシアタ

五十年に一度の大遠忌のご勝負はこのご縁に「しんらんさま七五〇プログラム」を進めています。ご門徒皆さん共々にお念佛に生きる喜びいっぱいにお勤めいただきましょう。

円光寺お待ち受け法座

平成23年1月16日(日)

(親鸞聖人749年回祥月御命日)

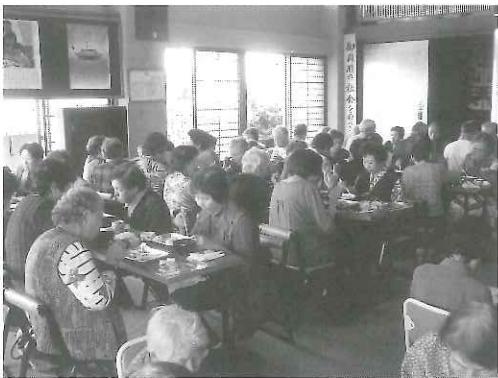
大遠忌法要に向けて
円光寺門徒総結集大会
ご門徒皆さん一緒に「お正信偈さま」をお勤めしましょう



大海組お待ち受け法要ポスター

世々生々

南米チリでおきた鉱山落盤事故は地下七百メトルに閉じ込められた33名全員が69日ぶりに救出され、その模様が全世界にテレビ中継されて、多くの人々が感動した◆救出カプセルから出てきた作業員は真っ先に家族としつかり抱き合った。これまで耐えてこられたのは、仲間同士の支え合いと家族縁者の励ましがあったからこそといわれる◆話題の映画『悪人』を観た。最愛の娘を殺された父親が、娘を山中に捨て去った若者に「あんた、大切な人はおるね?」と聞き「その人の幸せな様子を思うだけで、自分までうれしくなつてくるような人たい」と言うシンが印象に残った◆私にとつて大好きな人とは誰だろう。両親、連れ合い、子ども、恩師、友だち、親せき・・・。そして本当に大切にしているのだろうかと思う。自分の都合に合わせて、愛したり怒ったり憎んだりする私がいる◆私がどんな生き方をし、背を向けることがあっても、いつも私のことを思い続けてくれる人がいる。大切な人、あなたがいるから、どんなことがあっても、希望をもつて生きていける。ありがとう。



手作りのお弁当をみんなでいただきました
(敬老会、10月1日)

皆さんが子どもの頃、お父さんお母さんだつた頃、どんな運動会の思い出がありますか。私は走るのが苦手でしたので、運動会の日は気持ちが少し重かったです。花火があがると「ああ、今日はやっぱり運動会があるんか」と思つたものです。

今朝六時に花火があがりました。今日は小学校の運動会だそうです。昨日はお寺の敬老会、そして今日は運動会ということです。秋はいろいろ行事が多いですね。

これが走るのが得意な人だつたら「さあー行くぞ」と気合いが一段と入つたことでしょう。その人、人がおかれた状況で、もとの見方もいろいろです。

お母さんは前の日からお天気を心配しながら、朝早くから起きています。今はお金を出せば何で

あります。今はお弁当を作つたことだと思います。今日は敬老会で、婦人会の皆さんが手作りのお弁当を作つてくださいました。それこそ毎年同じメニューですが、手作りで味付けとはいません。でも手作りのお弁当にはお金に換えられない、大きな願いがいっぱい

ご案内

◆御正忌報恩講

11月26日(金)	13:00~15:00
同	19:00~21:00
	(子どもほうおんこう)
11月27日(土)	11:00~15:00
同	19:00~21:00
11月28日(日)	10:00~12:00

◆常例法座

12月16日(木) 10:00~11:30

◆除夜会(鐘つき)

12月31日(金) 23:40より

◆元旦会

1月1日(土) 除夜会に引き続き

◆初法座

1月2日(日) 10:00~11:00

◆親鸞聖人750回大遠忌 お待ち受け法座

(親鸞聖人祥月御命日)

1月16日(日) 10:00~11:30

◆常例法座

2月16日(水) 10:00~11:30

お朝事にお参りしましよう
△ 每朝6時30分~7時△



男性ばかり6名のはなみずきの花が咲きました
(9月23日)

お朝事 法話 より

手作りのお弁当



大分教区少年連盟巡回班による人形劇『どっこいしょ』を観ました
(サマースクール、8月3日)

私たちの阿弥陀さまのご本願も手作りのご本願です。一朝一夕にできたご本願、お念佛ではありません。長い長い間、この私のことを思い取つてくださり、すべてのものを分け隔てなく救うという大きな願いをたてられ、長い長い間ご修行を積まれて、このお立ちすがたの阿弥陀さま、南無阿弥陀仏のお名号となつてくださいました。

手作りのご本願、阿弥陀さまのお心を、これからもご縁ご縁に聞かせていただきましょう。そして南無阿弥陀仏とお念佛よろこび申す身にさせていただき、お淨土への人生を歩ませていただきました。

浄土真宗門徒の基礎学習講座として、一年間毎月一回のプログラムで「百華のつどい」を開講しています。今回で八つの会・73人の華同行が誕生しました。

百華のつどい修了式

お菓子教室／第1金曜日

年に1回県内のおいしいお菓子を求めて
日帰り旅行をします (10月8日、佐伯)

お茶の会／第2木曜日

臼杵石仏に蓮を見に行きました
(7月8日)

健康教室／第2・4水曜日

からだをいっぱい動かして、元気で楽しく!! 手を動かしながら、おしゃべりに花が咲きます
(10月27日、あんのん館)

布ぞうり作りの会／第1・3水曜日



(10月20日、あんのん館)

い・き・い・き・門徒さん

円光寺では「色々おもしろミーティング」企画を行っています。
門徒さんだけではなく広く地域の方々にもお寺を身近に感じてほし
いと思います。

い・き・い・き・門徒さん

の方々にもお寺を身近に感じてほし
いと思います。佛さまのご縁に遇つてほ
しいと思います。

120余名の老若男女が鶴崎踊りに
興じました (8月12日)

早朝よりたくさんの中衆が舞台の設営準備から片付けまでお手伝いくださいました。

第13回盆おどり大会



歌って踊って、すてきな七夕の夜になりました (7月7日)

円成会の皆さん、水曜学校の子どもたちがきれいな七夕飾りを作ってくれました。

七夕キャンドルナイトサービス

還暦を祝う会

とにかく暑い夏だった。連日の猛暑日、太陽がギラギラ眩しく、うつとうしくさえ思つたものだ。お彼岸も真夏のようなくなつた。今度は急いで厚手の服を取り出す始末である。毎年のように異常気象と言われるのかと思つていたら、急に寒くなつた。今年は急いで厚手の服を取り出す始末である。秋がないまま冬になるのか。毎年、異常が当たり前になる恐さを思う。自然破壊が進む私たちの地球。地球は一体誰のものであらゆるいのちが共に生きたい。

あ
と
が
き

人生の節目節目にお念仏申しましょう
(8月15日)